

若き友へ

所感01 - 02 賀状2002年

経済学部教授 高島 均

新年おめでとうございます。

昨年は、多くの嬉しいこと・楽しいことがありました。

年の初めには、今までは一ツガイしか来なかったメジロが、数匹で来て、冬の餌に出してあるミカンを突付いてくれました。また、蝶の採集と標本の収集は、私の子供のころからの趣味でしたが、春や秋には、昔、一~二匹しか採集したことのなかった蝶を二種類も、成虫と幼虫あわせそれぞれ十数匹採集でき、感激しました。秋に、大学のキャンパスで採集した蝶(ムラサキツバメシジミ)は、本来、関西以西が棲息地で、主として九州・四国地方に棲息している蝶です。時折、台風に乗って関東地方に来るのですが、食樹はあっても気候が寒くて棲息できなかつたものです。今後、土着するかどうかは分かりませんが、少なくとも、関東地方の気候が温暖化している証拠のひとつでしょう。夏は、オーストリアで開催された国際財政学会のついでに、妻と二人で、オーストリアの歴史と自然を存分楽しんでできました。人々の優しさが身にしみました。

とはいえ、最近の世相を見ていると、職場や住んでいる地域といったごく身近な社会から始まって、世界の至る所で、剥き出しのエゴイズムと欲望が、他者に対する憎悪に裏打ちされた攻撃性を具えて暴力的に蔓延しだした如くに見えます。正義と平和の実現を願って新年の挨拶とさせていただきます。

二〇〇二年元旦